



認定NPO法人マドレボニータ
2022年度 年次報告書

ANNUAL REPORT 2022

2022年10月-2023年9月



@Yukari Takano

Madre Bonita

ご挨拶

中桐昌子
共同代表理事



山本裕子
共同代表理事

日頃よりマドレボニータを応援くださり、ありがとうございます。

私が一生のうちで一度は訪れてみたいと思っているのがスペイン・バルセロナにあるサグラダ・ファミリアです。この夏東京で開催された「サグラダ・ファミリア展」で、この教会は戦争や貧困で疲弊した市民の心を救うために、設計者であるアントニ・ガウディ自ら寄付を呼びかけ、多くの人たちによる寄付によって作られたということを知りました。日々たくさんの方のご支援をいただきながら「産後」が起点となる社会課題解決のために活動している自分たちの活動との思いがけない共通点も見いだすことができ、大変勇気づけられました。

「人間は創造しない。人間は発見し、その発見から出発する」そんなガウディの言葉の通り、私たちもまた産後ケアの現場で産後女性やそのパートナーから寄せられる声、不安や葛藤、その先にある望みや喜びに耳を傾け、そこから新たな気づきや発見を得て、日々の事業や啓発活動につなげています。

サグラダ・ファミリアは建設開始から141年、今もなお工事は続いています。マドレボニータは創業から25年。「すべての家族に産後ケア」を実現するため、私たちの挑戦もまだまだ続きます。その道のりの大切な一歩となる一年の軌跡のご報告となれば幸いです。

2022年度も、多くの皆さまからのご支援によって活動を継続できましたこと、まずは心より感謝申し上げます。

本年度は、5月にエクセレントNPO大賞にて「課題解決力賞」を受賞し、6月には日本NPO学会にて登壇させていただく機会があり、ここまでの奮闘を認めていただき、新たな視点をいただけた一年でした。また、6月には育児・介護休業法の改正に伴い、産後ケア教室をはじめ、カップル講座などでも、男性の育休に関する悩みなども多く聞かれるようになり、大きな時代の変化を感じる1年でした。そんな中、男性向けレッスンにもチャレンジしました。すると現場で目の当たりにしたのは、男性も女性と同じようなしんどさや不安を感じているということ。しかも女性よりも、地域コミュニティへの参画が少ない傾向にある男性はそのしんどさを吐き出す場が少ないということでした。改めて産後ケアを家族まるごと伝えていく必要性を感じています。

とはいえ、今の私たちができることには限りがあります。限られたリソースで、いかに多くの家庭に産後ケアを届けていけるかがこれからの課題です。そのためにも、新年度も団体内外問わず、丁寧に対話を重ねながら、手を繋ぎ、失敗を恐れることなく、できることを一つ一つ積み上げてまいります。引き続き、あたたかいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

Madrebonita News

認定NPO法人更新

マドレボニータはこのたび、東京都の審査を経て、5年目の「認定NPO法人」更新を行いました。2017年11月に認定を受けて以来、事業の公益性と、多くのご支援者の存在、そして適切な管理・運営体制を認めていただき更新に至りました。

認定更新にあたり伴走していただいた 有限会社サテライト・オフィスの池本様・大庭様、そして日頃より活動を支えてくださいましたご支援者の皆さまに大変感謝しております。



第10回エクセレントNPO大賞「課題解決力賞」受賞

本賞は、「自己評価を行いながら質の向上をめざす非営利組織を応援し、その活動を社会に『見える化』することを目的」とされており、15の評価基準に基づいた自己評価書をもとに選出された5団体の中から受賞することができました。今後とも「課題解決力賞」の名に恥じぬよう、産前産後が起点となる社会問題の解決に取り組んでまいります。

(2023/5/10 主催:「エクセレントNPO」をめざそう市民会議)

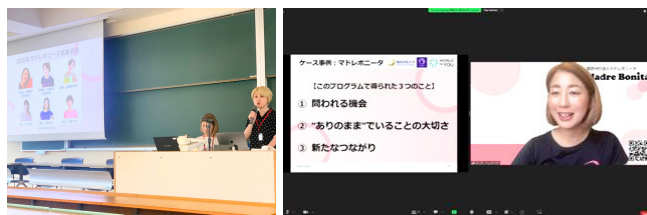


日本NPO学会第25回研究大会 実践報告発表

1日目は共同代表の山本裕子が、一般社団法人World In Youの「創発を促す非営利組織のガバナンス: 多様なセクターの人材が参画する価値と可能性」というオンラインセッションに、ボードフェロープログラム第1期の参加団体のパネリストとして発表しました。

2日目は、理事・組織基盤担当の永野間かおりが、実践報告にて『事業承継後の組織運営について～理事改選において誰もが組織運営を自分ごとにするための工夫～』を発表しました。

(2023/6/10,11 会場: 京都産業大学)





教室事業

産前産後ケアプログラムの提供

2022年度受講者数 **871組**



対面
プログラム
745組

内訳
産後ケア教室4回コース 395組
産後のバランスボール教室 42組
その他の単発講座 308組

オンライン
プログラム
126組

内訳
産後産後のセルフケア教室
- 4回コース 43組
- 単発講座 4組
両親学級 79組

カップルで学ぶ産後ケア講座 (旧オンライン両親学級)

2020年コロナ禍より新たにスタートしたオンライン両親学級・カップルで学ぶ産後ケア講座。NIKEジャパン様のサポートにより、受講料全額補助にてご参加いただきました。特にこの一年は研修を行い、担当できるインストラクターが増え、毎月定期開催したことで、カップルのタイミングに合わせてご参加いただけるようになりました。国を挙げての男性育休推進もあり、育休を取得される予定の方が増えていますが、そんな育休中にパートナーはどんなサポートができるのか？具体的なことがシュミレーションできてよかった！という声や、逆に「夫が育休を取れないので不安だったけれど、まわりのサポートを得られるよう、妊娠中の今から夫婦と一緒に産後の準備をするきっかけになった！」とご参加者の皆さまより好評の声をいただいております。



産後ケアバトン制度



2022年度
支援組数
22組

事由の内訳
多胎児の母 13組
ひとり親 0組
障がいのある児の母 0組
早産児の母 3組
児が入院した母 4組
産前入院した母 2組

累計
支援組数
1,299組

2022年度は日本労働組合総連合会様の愛のキャンパの助成にてご利用者の受け入れができました。予算縮小のため、半額補助に切替え、従来通りの組数に届けることを目標に運営してきましたが、支援組数は前年度の半数という結果となりました。

12月の寄付月間に行ったクラウドファンディングをはじめ、大勢の方よりご寄付をいただけたため、2023年度は全額補助での運営をスタートしております。

産後ケアバトン制度 ご利用の声

ご寄付をいただき本当にありがとうございました！子どもが退院するまで区の保健師訪問などもなく、児童館などももちろん行かなかったため、情報の入りようがなかったです。本当に孤独でした。

双子を連れて電車に乗り、慣れない場所でのオムツ替えや授乳、しかもそれを自分自身のためにやるなんて、育児初心者には最初の一步がとてとても重かったのですが、皆さまのサポートがあることでハードルが下がり、実りある時間を過ごさせていただきました。この成功体験を糧に、育児しているから、双子だからと尻込みせず、これからも外に出たいと思います！

そしていただいた優しさを、いずれ何らかの形で次の方に引き継いでいきたいと思っております。

(多胎児の母 2023年1月 赤羽教室受講)

行政との協働

2022年度 講座開催実績

埼玉県戸田市 市民企画講座

「家族で取り組む産後ケア」 (1月)

三重県桑名市 男女共同参画推進事業

「産後も老後も笑顔で向き合うためのパートナーシップ講座」 (2月)

栃木県宇都宮市 男女共同参画センターパーティ

「夫婦で学ぶ産後ケア～産後クライシスを乗り切ろう！」 (7月)

神奈川県横浜市 男女協働参画推進センター

「男性が赤ちゃんと自分の人生を見直すための講座」 (9月)

その他開催自治体

- 北海道 和寒町
- 北海道 美幌町
- 北海道 厚岸町
- 北海道 津別町
- 山形県 山形市
- 神奈川県 鎌倉市
- 岐阜県 山県市

▼自治体からの
お問合せはこちら



『産後白書4』を47都道府県へ

昨年夏に実施したクラウドファンディング「『産後白書4』を47都道府県へ届けて夫婦のための産後ケアを実現したい！」でのご支援のもとに『産後白書4』を印刷書籍化。昨春秋、全国の自治体から一軒一軒リストアップし、合計約2400か所へのぼる・母子保健センター・子育て世代包括支援センター・男女共同参画センター等へ『産後白書4』ならびに啓発資料を発送・配布しました。

『産後白書4』を手にとった自治体関係者さまより「産後白書4のデータを活用して産後ケアを促進したい」「地域の産後家庭にご案内したい・全数配布したい」とご連絡をいただき、複数の自治体にて配布や設置が実現しました。

産後白書4ダウンロードは
こちら



『産後白書4』配布により実現した取り組み

産後白書4 配布等の実績

岐阜県白川村

保健師による「赤ちゃん訪問」時に手渡し配布

鹿児島県さつま町

妊婦教室でのチラシ配布

北海道上士幌町

すべての産前家庭に産後白書4を母子手帳とともに配布

神奈川県横浜市「神奈川区子育て地域子育て支援拠点かなーちえ」

マタニティプログラムにて『産後白書4』を配布

神奈川県川崎市麻生区／愛知県美浜町

『産後白書4』データを自治体の講座で引用

愛知県助産師会

会員へチラシ配布

沖縄県沖縄市

妊産婦への『産後白書4』チラシ配布

広島県安芸高田市

市内のすべての子育て支援拠点に設置

自治体からの視察等

北海道北見市

市議会議員によるカップル講座の視察

北海道網走市

自治体関係者による産後ケア教室視察

千葉県木更津市

市職員による産後ケア教室体験

自治体での講座開催実績は2ページにて紹介しています。

岐阜県 大野郡白川村



保健師による赤ちゃん訪問時に手渡し (生後1~2ヶ月頃)

北海道 上士幌町



母子手帳とともに交付

広島県 安芸高田市



市内の全子育て支援拠点にて『産後白書4』を設置

LIVE Madre Bonita
1/30 (月) 12:00-12:30

救えて市議さん// 私の「困った!」
どうしたら自治体に届く?



南海克彦さん
広島県安芸高田市
市議会議員



中橋真子
Madrebionita
妊婦教室

©2022 Madrebionita

鹿児島県 薩摩郡さつま町



マドレボニータ
『オンライン両親学級』
を視察くださいました



©2022 Madrebionita

『サンゴクエスト』パートナー団体になりました

「サンゴクエスト」とは妊娠中から産後1年までをすごろく形式で体験しながら、夫婦でコミュニケーションをとることができるボードゲームです。

このたびマドレボニータが初のパートナー団体となり、認定インストラクターもこの度、5名が研修を受け、認定ファシリテーターとなりました。自治体への働きかけなどにもぜひ活用していけたらと思います。

サンゴクエストの詳細はこちら▶▶



マドレボニータが
「サンゴクエスト」の
パートナー団体第1号に!





支えてくださった企業・団体の皆さま

マドレボニータの活動は個人・企業・団体さまからのご寄付・助成により支えられております。
日頃からのご支援に心より御礼を申し上げます。（五十音順・敬称略）

助成金

日本労働組合総連合会「愛のカンパ」

法人会員

医療法人社団SJS 金子レディースクリニック
認定NPO法人フローレンス
株式会社ベルタ

協賛

NIKE Japan Corporation

ご寄付

朝活バランスボール部
岩砂病院・岩砂マタニティ
株式会社環境システム社
Google合同会社
NPO法人こどもトリニティネット
医療法人けんゆう会 レジーナクリニック

寄付・決済プラットフォームによるご支援

渋谷区ふるさと納税
株式会社STYZ Syncable
株式会社SOLIO

株式会社バリューボックス チャリボン
PAY.JP
Benevity



組織運営

4年ぶりの団体合宿

2023年9月に団体の対面合宿を4年ぶりに開催しました。合宿のテーマは「フリーダム！考えろ、そして感じるんだ！」。

有志の合宿企画メンバーが中心となり、プログラムは対話の時間と、産後ケアプログラムのブラッシュアップのために体を動かす時間がバランスよく盛り込まれていました。

またコロナ禍でずっと会えなかったメンバーたちにリアルで会えたことは純粋に嬉しく、当日参加が叶わなかったメンバーも、メッセージカードを寄せたり、さまざまな形で合宿に関わってくれました。写真は賛助会員でカメラマンの高野由香里さん(@mu_photo_delivery)が撮影してくださいました。

今後もメンバー誰もが、立場や経験年数に関わらず、尊厳や自信をもって活動できる組織運営をめざしていきます。



各地で活動する
インストラクター紹介は[こちら](#)



人権・ハラスメント対策&組織運営について発表

2023年2月に仙台で開催されたNPO・ボランティア団体など社会課題に取り組む団体対象の「ハラスメント対応・窓口研修者育成研修」へ理事の永野間かがりが登壇しました。

NPOは少人数の運営体制や「ハラスメント」という言葉への抵抗感が理由で、なかなかハラスメント対策に取り組めない団体が多いのが実情です。

そこで、少人数かつリモートワークで長年運営してきたマドレボニータの人権・ハラスメント対策を具体的に紹介することで、他団体も「これは自分たちにもできるんじゃないか？」と、ハラスメント対策に着手するハードルを少しでも下げられたら…と思いながら登壇しています。





会計報告

活動計算書 (2022年10月1日～2023年9月30日)

I 経常収益	
1. 受取会費	1,209,500
2. 受取寄付金	12,366,072
3. 受取助成金	450,000
4. 事業収益	5,251,218
5. その他収益	180,286
経常収益計	19,457,076
II 経常費用	
1. 事業費 人件費	587,299
その他費用	8,072,802
1. 管理費 人件費	1,845,068
その他費用	2,031,684
経常費用計	12,536,853
当期経常増減額	6,920,223
III 経常外収益	
過年度損益修正益	661,144
経常外収益計	661,144
税引前当期正味財産増減額	7,581,367
当期正味財産増減額	7,581,367
次期繰越正味財産額	23,637,386

今年度は予算の2.2倍となる1,200万円のご寄付を頂きました。皆さまからのあたたかいご支援のおかげで、次年度への繰越正味財産額が758万円と大きくなりましたが、次年度からの事業に活用させていただく予定です。

東京都から承認いただいた認定NPOの更新にあたっては、過去5年間の会計書類や入金記録、寄付者名簿など、細部に渡り管理体制の確認を受けました。一昨年までに多額の助成をいただいた日本財団の助成金に関しても、今年の夏に会計監査が完了しております。

今後とも、皆さまからのご支援を産後ケア普及に生かしていけるよう、堅実な管理体制を続けてまいります。

貸借対照表 (2023年9月30日現在)

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
普通預金	25,253,396	未払金	1,536,214
貯蔵品	550,375	前受金	955,123
未収金	209,878	預り金	65,285
前払費用	11,491		
立替金	60,569		
流動資産合計	26,085,709	流動負債合計	2,556,622
固定資産		固定負債	
商標権	108,299	固定負債合計	0
固定資産合計	108,299		
資産合計		26,194,008	
		負債及び正味財産合計	
		26,194,008	
		正味財産の部	
		前期繰越正味財産	
		16,056,019	
		当期正味財産増減額	
		7,581,367	
		次期繰越正味財産額	
		23,637,386	

監査報告書

監査報告書

2023年11月6日

特定非営利活動法人 マドレボニータ
 理事長（共同代表） 中桐 昌子 様
 理事長（共同代表） 山本 裕子 様

監事 永田 恵美
 根本 剛史

私たちは、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人マドレボニータの2022年度（2022年10月1日から2023年9月30日まで）の事業報告書、計算書類（貸借対照表及び活動計算書）及び財産目録について監査を行った。

私たちは、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては会合を持ち、必要と認める場合には質問を行った。また、経営の状況及び財産の状況に関する監査に当たっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、法人の業務は法令、定款及び2022年度の事業計画に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、私たちは、上記の事業報告書、計算書類及び財産目録が、特定非営利活動法人マドレボニータの2023年9月30日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認める。

以上



ご支援のお願い

ここまでお読みいただき、ありがとうございました。
皆さまからいただいたご寄付はインストラクター養成や、
産後ケアバトン制度の運営など、産後ケアを広く普及するために使わせていただきます。
今後ともさまざまな形で「すべての家族に産後ケア」の実現に向け活動を展開してまいります。
ぜひ、活動へのご支援をお願いいたします。

毎月のご寄付

● マドレ応援団（マンスリーサポーター）

- クレジットカードで毎月一定額をご寄付いただく仕組みです。
- 毎月のご寄付額は1,000円／2,000円／3,000円／5,000円／10,000円の5種類からお選びいただけます。
- 会報、年次報告書や毎月のメールleter、限定Facebookグループで活動情報をご報告します。
- 金額のご変更や退会はいつでも可能です。

お申込みはこちら

<https://www.madrebonita.com/donate-monthly>



都度のご寄付

いつでも、おいくらからでも

● 銀行振込でのご寄付

ゆうちょ銀行 10190 37231

(他行からの振込は ○一八店（ゼロイチハチ店）普通 0003723)

口座名義 特定非営利活動法人マドレボニータ

三井住友銀行 永福町支店 普通 7231754

口座名義 特定非営利活動法人マドレボニータ

● クレジットカードでのご寄付・古本でのご寄付

お申込みはこちら

<https://www.madrebonita.com/donate>



マドレボニータは認定NPO法人です

寄付された方は、確定申告により寄付金控除等の税制優遇を受けることができます。

※対象：単発寄付、継続寄付（マドレ応援団）、賛助会員費

- 所得税減税のほか、自治体によって住民税が減税となる場合もあり最大50%の減税となります。
- 相続財産寄付・遺贈寄付は非課税となります。
- 法人の場合、法人税を軽減させる「寄付金損金算入枠」が3-5倍になります。また、一般枠と特別枠の合計額まで損金にできます。



Madre Bonita

マドレボニータ 2022年度年次報告書

発行人 特定非営利活動法人マドレボニータ

住所 〒150-0001

東京都渋谷区神宮前6-23-4 桑野ビル2階

公式サイト <http://www.madrebonita.com>

メール info@madrebonita.com（事務局）

SNSでも情報発信中！

Facebook



Instagram



X (Twitter)

